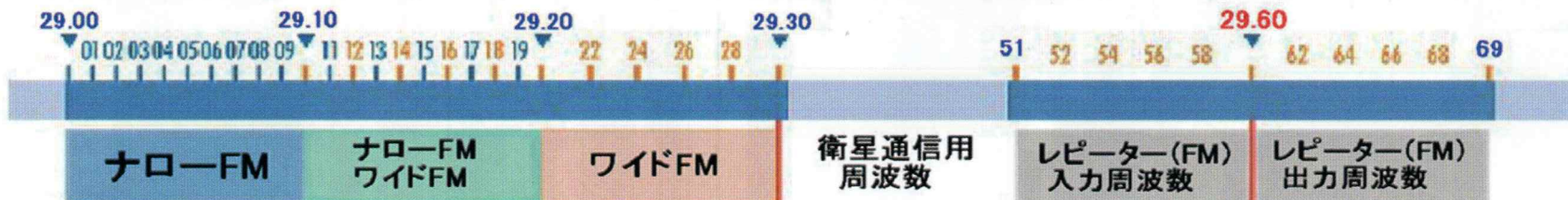


29MHzFM運用周波数プラン

29MHzFM 運用周波数プラン

※29MHzFMモードは、バンド幅が狭いので、なるべくナローモードでの運用をお願いします。



各音声デジピーター (TONE 88.5Hz)
29.02MHz JD1/南鳥島 (期間運用)
29.03MHz 富山県富山市・岡山県岡山市
29.05MHz 北海道札幌市

29.07MHz 東京都小平市
29.09MHz 神奈川県横浜市
29.11MHz 香川県東かがわ市
29.13MHz 山梨県南アルプス市

注意！
衛星周波数29.31MHz
z~29.50MHz間のFM
モードは使用できません。

29.60MHz
国際呼び出し周波数
※レピーター周波数は、レピーター
に妨害を与えない程度でシンプレッ
クス運用が可能です。

★運用方法

バンドプランのようにFMモードの運用は29.01~29.690MHz間の衛星周波数を除いた29MHz帯で行われます。国際呼び出し周波数29.600MHz (米国・欧州局等が受信)、アジア周辺呼び出し周波数29.300MHz (以前から国内呼び出し用として活用)を多数の局が受信しています。29.300MHzは、国内呼び出し周波数とは決められておりませんが、沢山の局が29.300MHzを聞かれていますので、Es等によりコンディションが上がっている時には、他の周波数にQSYして交信をお願い致します。
※Es等により、偶数周波数の空きが無い場合は、ナローモード10kHzで奇数周波数の運用が出来ます。

★C4FM・D-STAR DV等のデジタルモードを運用される方へお願い！

10mFMバンドで運用される方のほとんどがアナログ局です。C4FM・D-STAR DVモードを運用される方は、29.15~29.29MHzの奇数周波数か、レピーター周波数での運用をお願い致します。(29.02~29.13MHzは音声デジピーター稼働しています。)レピーター周波数も、レピーターに妨害を与えない程度で使用可能です。

(29.600MHzは国際呼び出し周波数、29.620MHzは兵庫県神戸市六甲レピーターが使用しています)

※偶数周波数は、アナログ局が皆さん周波数を譲りながら、使われております。周波数がすべて使用中の時は、実験やロールコールを控え、周波数が空くまでワッチし、紳士的に運用しましょう。